

みんなで楽しく 広げよう！国際交流の輪！！

南区では、さまざまな機会を通して外国人との交流事業を行っています。
言葉の壁を乗り越え、笑顔でふれあう外国文化。
さあ！皆さんも参加してみませんか！



▲料理講習会の様子

料理講習会を通じて

区内には、国際料理講習会や地域の行事といったさまざまな機会を通して、外国人と交流しお互いの文化に親しみながら、地域のまちづくりに貢献している団体があります。

昨年十二月三日に南区民センターで開かれたのは、南区PTA連合会主催の「国際交流料理講習会」です。会場には、外国の料理の手ほどきを楽しみにしていたPTAのお母さんなど、約三十人が集まりました。

講師は、平成四年にオーストラリアから来日。その後、日本人と結婚し、現在、豊平区にお住まいの近藤ジョウサです。

楽しいおしゃべり



この日は、オーストラリアの家庭料理を知ってもらおうと、約二時間かけて丁寧に取り組まれました。途中、各調理台を回って、笑顔で詳しく手ほどきする近藤さん。和やかな雰囲気の中、講習会が進みました。

終わりに、みんなで出来立ての料理を食べながら、オーストラリアの生活や文化、日本での暮らしで感じたことなどを語り合い、楽しく会話が弾みました。

同連合会では、平成元年から毎年、国際交流料理講習会を続けています。十三年度はベネズエラ人の講師、十四年度はドイツ人の講師を招くなど、外国の文化を知る良い機会となっています。

今回の講習会の企画は、同連合会女性代表者の上河邊ゆかりさんと菩提寺ますみさんが中心となり、役員の皆さんが、半年以上も前から準備してきました。札幌国際プラザや知人と連絡を取り合い、講師の依頼をはじめ、当日のメニューに適した食材選びなど多くの役割を担いました。

上河邊さんは、「毎年、多くのお母さんたちが参加していますが、この講習会で身に付けた料理をそれぞれの家庭で披露し、ご家族からも好評を得ているようです。これからも、いろいろな国の方に講師として来て頂き、料理講習会を通じて国際交流を深めていきたい」と今後の抱負を語ります。



▲おいしそう！